

謹賀新年



(一社) 全日本川柳協会 2021年

ご挨拶

理事長 小島 蘭 幸

新春をお祝い申し上げます。

令和3年、私もそうですが、複雑な思いで新春を迎えられた方も多かったことと思います。昨年の11月から新型コロナウイルスの第三波で、年末年始の里帰りを控えた人が多く、初詣でもまだの方も多聞いています。私は三密を避けて1月中旬に参拝をしたいと考えています。

毎年、恒例の書き初めは、ひとり静かに書きたいと思います。

牛の歩で足りる新世紀は長い 広文

昨年は色紙に私の句を書きましたが、丑年

日川協通信 (126)

令和3年1月1日



一般社団法人 全日本川柳協会

〒530-0041 大阪市北区天神橋二丁目

電話 (06) 6352-2210

FAX (06) 6352-2433

北一一一九〇五

振替口座 00970-9-3575

<http://www.nissenkyou.or.jp>

の今年は、広島の犬先輩、定本広文先生の国民文化祭ぐんま2001の文部科学大臣奨励賞を受賞したこの句を色紙に書かせていただきます。広島県川柳協会会長として、第29回全日本川柳2005年広島大会の実行委員長として尽力された定本広文先生をしみじみと偲びたいと思います。

さて今年、延期になっていた第35回国民文化祭みやざき2020が7月11日に開催されます。第36回国民文化祭わかやま2021は11月14日に開催されます。従って国民文化祭は年2回の開催となりますのでよろしくお願い致します。

また例年開催している全日本川柳誌上大会（令和柳多留第2集通巻23号）は、2月2日が締切ですので、会員の皆様に周知の上、応募のお勧めをお願い致します。

今、私の一番の願いは、一日も早く新型コロナウイルスが収束して、国民文化祭をはじめ全国各地の大会で多くの柳人にお会いすることです。

第44回 全日本川柳 2020年 秋田大会

(誌上参加者 1,585名/事前参加者 1,688名/ジュニア参加者 3,449名)

文部科学大臣賞

歌いたくなるさこんなに青いんだ 秋田 荒川 一滴

参議院議長賞

しゃぼん玉の中を独走したくなる 青森 千島 鉄男

川柳大賞

ふるさとは僕の漬け物石である 青森 岩崎 雪洲

大会賞

だいじょうぶ鉛のツバサでも飛べる 静岡 松田 夕介

休耕田起きよ食糧危機が来る 富山 梶沢 昇子

開拓者たらんと挑む試験管 神奈川県 土方かつ子

負けないよ歌を忘れていないから 東京 藤田めぐみ

ダリのヒゲああ永遠は無いと知る 東京 齊藤由紀子

明日へと血を滾らせる大落暉 奈良 大西 将文

あふれだす感情八月の空に 秋田 赤石 ゆう

新刊が拓いた脳の新境地 大阪 北出 北朗

ぼくの知らないぼくをGAF Aは知っている 東京 落合 正子

日本の男のかたち田に力 秋田 伊藤のぶよし

終活の先ずは丹田ととのえる 青森 辻口風来坊

ジュニア部門

秋田県知事賞

ポケットであたためた手でなかなおり 茨城 南小4 中山 悠真

秋田県教育長賞

目がむずむずはながむずむず春が来た 富山 上条小3 早瀬 結心

秋田市市長賞

太陽をポケットに入れてでるパワー 茨城 南小6 中山 惣真

秋田市教育長賞

ポケットにかくしもってる笑い種 富山 大沢野小5 石田 宥斗

秋田県芸術文化協会長賞

おにいちちゃんしあいにかつたすごすぎる 広島 大竹小2 角井ゆう斗

全日本川柳協会賞

下校中桜がまっつて竜になる 秋田 牛島小6 佐々木亜嵐

秋田県川柳懇話会会長賞

駅広い心の中はまだ広い 山口 椿東小6 上田ひろと

秋田魁新聞社賞

改札を出て人地獄解放だ 広島 佐方小6 上田 湘

未来へと明日へつなぐ駅がある 広島 佐方小5 山根 雄喜

川柳界の大物逝く

本田 智彦

去る12月8日、日川協相談役の礮野いさむさんが他界された。息子さんからの話によると安らかに眠るように亡くなられたとのこと。享年百三歳という大往生を遂げられました。

いさむさんは温情な方で、人との接し方は柔らかく、誰にでも話しかけるその物腰は皆に親しまれていたことを想い出します。

日川協・理事会には仲川たけし初代会長時代から第4代の
大野風柳会長時代まですべてに出席し、川柳塔社の



故・橋高薫風氏とともに関西の代表として川柳界に助言を呈し、全日本的視野で川柳界をリードされてきました。

また川柳家の輩出について、特に九州での川柳家育成にご尽力され、

大分県の川柳家の育ての親として知られていました。大分県下の由布院に句碑を建立されています。

地方紙に美談見つけた宿の朝 いさむ

この句碑祭りは夏に何年も続けられ、昭和61年には第10回全日本川柳大分大会が別府市で開かれました。平成3年、川柳文化功労者と政府より叙勲、木杯一組を受けられました。

また出版物も多く、「川柳人間 礮野いさむ」の中で故・田辺聖子さんと対談、いさむさんの人間味について詳しく触れられています。番傘誌では「人物柳多留」という連載物のエッセーを執筆し、岸本水府を中心とする番傘の歴史を書き下ろしていました。

ご冥福をお祈り申し上げます。どうぞ安らかに眠りください。合掌

終わりに、いさむさんの句を鑑賞し、在りし日を偲びたいと思います。

欲のない通帳百歳で五冊

顔見世券四代を見て京に生き

女は住友男は三和若く生き

戦記読むひととき過去はほろにがし

大正生れの生甲斐文楽守る会

叙勲者として格式にこだわる日

朗らかな妻で第九を唄う暮れ

全日本川柳誌上大会のご案内

(令和柳多留第2集通巻23号)

日本の全柳人が、だれでも、どこからでも参加できる「全日本川柳誌上大会」(令和柳多留第2集通巻23号)を開催します。日川協年次大会・国民文化祭文芸大会と並ぶ(一社)全日本川柳協会の権威ある三大年間行事ですので、こぞってご参加ください。

一般社団法人 全日本川柳協会
理事長 小島 蘭 幸
出版委員長 西 出 楓 楽

課題と共選者(各題2句・連記)

「刻む」大竹 洋(千葉)	——	松代 天鬼(愛知)共選
「めでたい」小林信二郎(山梨)	——	くんじろう(大阪)共選
「褒美」福井 勲(東京)	——	長島 敏子(兵庫)共選
「ラッキー」藤 咲子(秋田)	——	徳丸 浩二(熊本)共選
「密」石川 川柳(埼玉)	——	鈴木 公弘(鳥取)共選

第2次選者

天根 夢草(大阪)、雫石 隆子(宮城)、島田 駱舟(千葉)
駒木 香苑(福島)、平井 義雄(長崎)

参加費 2,000円(投句料・『令和柳多留第2集通巻23号』代金含む)

賞 令和柳多留賞・川柳大賞・NHK会長賞
日本青少年育成協会会長賞・全日本川柳協会賞
全日本川柳誌上大会賞(予定)

締切 令和3年2月2日(火)〈当日消印有効〉

参加方法 参加用紙に記入し、参加費2,000円(振替又は小為替)とともに、下記へご送付ください。

〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-11-905
一般社団法人 全日本川柳協会
電話 (06) 6352-2210
FAX (06) 6352-2433
振替口座 00970-9-3575

第35回

国民文化祭・みやざき 2020

川柳作品募集要項（概要）

日 時／ 令和3年 7月11日（日）9時30分開場

場 所／ 宮崎市民プラザ オルブライトホール

〒880-0001 宮崎市橘通西 1-1-2 TEL 0985 (24) 1008

交通機関／ 宮崎駅から橘通1丁目バス停まで約9分、徒歩約2分

事前投句

（二句詠・当日消印有効）

令和2年5月1日～令和3年3月31日（水）

「メダル」… 浪越 靖政（北海道）

「牛」… 熊谷 岳朗（岩手）

「高千穂」… 西岡 南風（宮崎）

「趣味」… 伊達 郁夫（大阪）

第二次選者

本田 智彦（大阪）

平田 朝子（熊本）

坂下 清（富山）

福本 清美（徳島）

古谷龍太郎（福岡）

当日投句

（11時30分締切）

「遊ぶ」… 金子美知子（神奈川）

「忘れる」… 森中恵美子（大阪）

「神話」… 黒川 孤遊（熊本）

問い合わせ先・投句先

〒530 - 0041

大阪市北区天神橋2丁目北
1-11-905

一般社団法人全日本川柳協会

TEL (06) 6352 - 2210

FAX (06) 6352 - 2433

応募料

事前投句1,000円、当日投句1,000円

（ただし、海外投稿者、身体障害者手帳等の写しを添付された方は無料）

応募方法

所定の応募用紙に必要事項を記入し、（郵便）振替払込請求書兼受領証又はその写しを添えて応募してください。

主催

文化庁 厚生労働省 宮崎県 宮崎県教育委員会 宮崎市 宮崎市教育委員会
第35回国民文化祭宮崎県実行委員会、第20回全国障害者芸術・文化祭実行委員会
第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭宮崎市実行委員会
一般社団法人全日本川柳協会 宮崎県現代川柳協会

※ 「川柳の祭典」はコロナ感染拡大防止のため延期いたしました。
日付にご注意ください。また、交流会は中止となりました。

(元相談役)

2020年9月以後(敬称略)

謹んでお悔み申し上げます。

逝去日

役職

お名前

年齢

12/8

元相談役

磯野いさむ

103

今後の全国大会予定

▼富山

2022年6月12日(日)

富山国際会議場

※2021年は全国大会を行いません。

今後の国民文化祭予定

▼宮崎

2021年7月11日(日)

宮崎市民プラザ

オルブライトホール

▼和歌山

2021年11月14日(日)

有田市民会館

日川協加盟柳社一覧表訂正・変更

2020年9月以降

頁	柳社名	箇所	追加・訂正・変更内容
21	足立川柳会	代表	大野 征子 〒120-0013 東京都足立区弘道 1-21-22 TEL 03-5681-1390
38	福岡番傘川柳会	代表	角野たかし 〒814-0003 福岡県福岡市早良区城西 1-5-38-301 TEL 092-843-4017
41	内田博柳	新入会	〒111-0041 東京都台東区元浅草 4-4-17-202 TEL 03-5827-2139 FAX 03-5827-2176

編集後記

★明けましておめでとうございます。昨年は予想以上に新型コロナウイルスの感染者が日本全国に発生して、生と死を考える年でした。そして五輪も中止、今年に持ち越しました。

★川柳界もスケジュールを狂わせ句会も入場制限や中止、延期となりました。かといって誌上句会も句会のような雰囲気は得られず、中途半端な年でした。

★理事長のあいさつで述べられているように新型コロナウイルス収束を期待して、日川協の大会、国民文化祭が開かれることを願ひ、川柳家と会える日が実現することを期待します。

★大会や句会を開いて川柳家の生きる楽しみの起爆剤になることを信じてたい。またそうしてもらいたい年でもあります。

(事務局長 本田智彦)

お知らせ

第45回全日本川柳富山大会は
令和4年6月12日(日)に
延期いたしました。